

薬剤師の配置時間規制廃止

厚労省 薬機法改正省令案を公表

厚生労働省は3月26日、OTC医薬品販売に関する薬剤師などの配置時間規制を定めた医薬品医療機器等法の施行規則を一部改正する省令案を公表した。薬剤師などの有資格者を営業時間の半分以上配置する規制が省令で定められているが、昨年12月に開催された政府の規制改革推進会議で規制の廃止が取りまとめられたことを受け、規定を廃止する省令改正を行う。今月下旬に公布し、8月1日に施行する。

省令では、薬局等でOTC薬を販売する場合、開店時間の半分以上は薬剤師や登録販売者を配置するよう求めている。ただ、昨年10月に行われた規制改革推進会議で日本フランチャイズチェーン協会などから規制見直しが提言され、12月の会議で規制の廃止が取りまとめられた。

規制の廃止に向けては、厚労省が今年度内に結論を得た上で速やかに実施することとされており、今回、薬剤師などの有資格者を営業時間の半分以上配置する規定を省令から削

除することにした。

そのほか、店舗の開店時間のうち、医薬品を販売・授与する時間を消費者にも分かりやすくするために、当該店舗内と店舗外側の見やすい場所に掲示することも省令案に盛り込んだ。

OTC薬の販売をめぐるのは、薬剤師・登録販売者の専門家による管理体制が必要とされているが、日本フランチャイズチェーン協会などが薬剤師や登録販売者によるOTC医薬品の対面販売、販売時間規制が医薬品を必要とする患者の利便性を損なうと主張していた。

河野太郎行政改革相も、昨年10月の規制改革推進会議で、薬剤師等の配置時間に関する規制について「営業時間の半分以上ということ規制で決める必要はないのではないか。どれだけの時間にわたって有資格者を置いて販売するかは、各店舗で判断すべき話」とし、柔軟で多様な方法により医薬品を提供すべきとの考えを示していた。

(2021年3月29日掲載)

JACDS

日本チェーンドラッグストア協会(JACDS)は4月16日の定例会見で、2020年度のドラッグストアにおける調剤額が前年比9.0%増の1兆0693億円になったと発表した。18年以降、10%前後の伸び率で推移しており、今回初めて1兆円を突破した形となった。

ドラッグストア実態調査結果から判明したもので、池野隆光会長(ウエルシアホールディングス会長)は、「以前から伸びていくと思っていたが、1兆円を超えるということは、ドラッグストアとしてその次が見えてくる気がする」と期待感を示した。特に最近では、薬剤師を中途採用する難易度が下がっていることに加え、調剤併設の動きも進んでいるとして、「今年度は相当伸びるのではないか」との見通しを示した。

調剤額が1兆円を突破 ドラッグストア実態調査で

実態調査によると、国内の調剤医療費総額に占めるドラッグストアの調剤額のシェアも15年以降拡大を続けている。20年度のシェアは、暫定で昨年比1.1ポイント増の13.8%。20年度の調剤医療費総額が未集計なため、19年度の総額で集計した数値だが、JACDSは20年度の調剤医療費について、薬価改定やコロナ禍での受診抑制の影響で減少を見込み、実際のシェアは13.8%を超える予想している。

池野氏は「コロナ禍の中で門前薬局から面薬局に流れているとの感覚がある」と指摘。「新規開局も続いており、今後も伸びることは間違いない」と語った。

一方、日本医薬品登録販売者協会(日登協)の樋口俊一会長は、登録販売者の配置基準である「2分の1ルール」の廃止案への対応について言及し、継続して「断固反対」と意思表示していくと共に、日本薬剤師会の山本信夫会長らと廃止案をめぐる意見交換したと説明。「日薬との意見交換では、日登協として廃止を危惧していると伝えた。廃止について100%反対しているわけではなさそうだったが、ベクトルが全く違うわけではない」と話した。

(2021年4月21日掲載)

自分の弱点を分析しよう

こんにちは。メディセレのしゃっちゃん、児島恵美子です。

医療従事者や高齢者への新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりましたが、全員のワクチン接種が終わるのはまだまだ先になる気配です。そんな状況ですので、新学期が始まってから大学によってキャンパスライフは様々だと思いますが、対策をしながら自己免疫力を高めていきましょう。

メディセレでは先駆けて各校をウェブでつなぐテレビ会議を2007年から開始し、17年からはハイブリッド講義を展開してきましたが、今年はずいぶん海外にもつなぐという、ワールドワイドでハイブリッドな新入社員の入社

式を実施しました。

今春の106回薬剤師国家試験を受験した先輩たちは、コロナ禍の受験で大変でした。107回も環境は改善しないかもしれません。今回の合格率は0.92ポイント減の68.66%と下がりました。オンラインでは教育効果が上がらないと言われる中、メディセレスクール生の合格率は前回より落ちませんでした。

その理由の一つが、自分の弱点をいかに早く見つけて力を注ぐかです。人は誰でも不得意があります。30%しか理解していないところを50%まで引き上げること、50%理解しているところを70%まで引き上げると同じ20%ですが、前者のほうが確実に引き上げられます。なぜなら問題には難易度があるからです。難易度の低いと

ころを理解するほうが上がりやすいのです。

今後の国家試験は相対評価になります。成績が今まで良くなかった人は下剋上を狙わなければなりません。その最短の方法が、自分の穴を埋めることです。だから大学の模擬試験を有効活用しましょう。客観的な基準で自己分析をしましょう。

メディセレでは皆さんに最適化学習をしていただけるよう、ウェブ上で約15分間のテストを受けるだけで学力診断ができる「メディセレAI診断」をリリースしました。無料で診断を受けられます。よろしければ使ってみてください。問題に出なかった科目の診断もできますよ。AIは驚きの賢さです(笑)。負けずに頑張りましょう!

国試予備校の現場から



メディセレスクール社長
児島 恵美子



薬のことなら薬事日報ウェブサイト

『薬事日報』に掲載される記事を中心に、医薬業界のニュースサイトとして成長を続けています。読者の約8割が医薬業界に属しており、医薬業界のニュースサイトとしては最大規模に成長しています。医薬業界の情報収集にご活用ください。

「薬学生新聞」も
ウェブサイトに公開中!!

<https://www.yakuji.co.jp>

薬事日報

検索